



外戸保所長の隣で表彰状を手にする寺園さん(前列左)＝志布志市の志布志港湾事務所で

志布志港湾事務所

植村組が所長表彰

優良施工業者を受賞

九州地方整備局志布志港湾事務所(外戸保所長)は18日、志布志市の「国土交通行」で、植村組に功績を表彰した。

表彰は、19年度に完成した事務所管工事、および業務などを対象に実施。今年、優良施工業者の工事部門で、志布志港(新若浜地区)岸壁(14m)付帯設備工事の現場の完成度などに對して高い評価を受けた。

表彰式には同社福岡支店の久保清志営業部長、また、評価を受けた工事の現場代理人を務めた鹿兒島本社の手嶋哲也さんが出席。模範となる優秀な施工技術を発揮したとして、優良施工業者の表彰を受けた。



寺園さんは「一緒に現場にあたって他業者の方との連携・調整がうまくいった成果」と受賞を喜んでいました。

県が整備を進める「道路改良工事(青瀬トンネル)」の安全祈願祭が18日、薩摩川内市下甕町手打の現場で行われ、施工業者の南生建設・新留土

青瀬トンネル安全祈願祭

工期内の安全祈願

木・上東建設特定建設工事共同企業体をはじめ、県・市・地元住民など関係者約80人が参加して、全員で工期内の無事故・無災害を祈願した。



神事では祝詞奏上、清被之儀に続いて、地鎮の儀で石原敬典北薩地域振興局建設部長による刈初之儀、田中良二県議による献入之儀、最後に施工業者の南生建設・新留土



者代表として南生建設(株)の川畑博彦社長が穿初之儀を力強く執り行った。故無災害で施工したい。

人が神前に玉を捧げて安全を祈願した。神事の後、施工業者代表として川畑社長が「1000mを超すトンネル工事、内のみJVで施工するのは初となる。道路改良工事を行うもの。総事業費は約102億円。全面供用開始は22年度を予定している。

地産ウッドセンター研修会

実績づくり大切

今春設立した協同組合地産ウッドセンター(竹下橋代表理事)は17日、鹿兒島市の県青少年会館で第1回共同事業促進(研修)会議を開き、共同事業の説明と県の担当者

の講演を聞いた。県産材の有効活用として新しい販路開拓を目指して今年4月、組合を設立。組合員は、間仕切りの南日本マテリアル(株)、床材の関こうけん、木工家具・建具のゆしんばた木工

塗装のペインテック彩光社の4社。これにメーカーも賛助員として3社加わった。かしま地材地産ウッドセンター協議会にも入会している。

同日は15人が出席し、事業経過報告のあと賛助会員の紹介、さらに事業説明を聞いた。最後は保成社長が行った。最後に意見交換や質疑応答があり、「実績づくりが大切。そこから課題を出し合い、対応していくこと」で、意見の一致を見た。

～ 県建設業協会種子島支部 ～ 美化意識高まれば

良好な河川環境の保全・創出を図ろうと、県建設業協会種子島支部(藤田護支部長)は18日、今年も西之表市、中種子町、南種子町の島内3地区で、河川や港湾の清掃ボランティア活動を実施した＝写真＝。

同活動は、市民への河川愛護思想の普及・啓発を目的に毎年実施しているもので、県熊本支庁をはじめ、各市町の職員や会員ら総勢120人が参加。午前8時30分から作業を開始し、午前中いっぱい続けられた。朝から希望が広がったことから、参加者は全身汗だくになりながらも懸命に作業に取り組んだ。



今日も、会員企業が草刈り機やチェーンソーのほか、ダンプカーやタイヤショベル、コンボなどの重機を投入。参加者の懸命な作業で周辺は見違えるほどきれいになった。作業後、同支部の川畑雅美事務局長は「過激な作業ではあったが、住民皆が河川や港湾を大切にしたい。環境への美化意識が高まれば」と期待を込めた。

地域貢献活動



～ 名瀬港安全協・名瀬港安全衛生協 ～ 「海の日」清掃

名瀬港安全協議会(宇都等委員長・五洋建設(株))と名瀬港安全衛生協議会(岩崎雄次会長・柳町建設)は18日、「海の日」(21日)にちなみ、同日で名瀬港内の清掃を実施した＝写真＝。

同活動は、海と親しみ、水辺をきれいにする愛護思想を啓発する目的で、平成12年から毎年行っている。

同日は、両会合合わせて10社(約30人)と県大島支庁建設課職員約20人、国からも数人が参加。作業は2班に分かれて行われ、A班は名瀬港大橋から小浜町交差点までの臨港道路、B班は日港周辺および名瀬港協同周辺で除草と清掃を行った。参加者らはうだるような暑さの中、道路沿いの空き缶やペットボトルなどのごみ拾いや雑草伐採に精を出した。

参加企業は次の通り。

A班＝村上建設 町野建設 竹山建設 名瀬港運 中島建設 伊

勢産業土木V班＝五洋建設 植村組 東亜建設工業 東洋建設

～ 田上建設 ～

水辺の舞台整地に汗

田上建設(株)(田上俊廣社長、薩摩市)は17日、同市横川町の水辺で、水辺コンサートを前に、舞台整地や周辺のごみ拾いなどのボランティア活動を行い＝写真＝、関係者に謝辞を述べた。



同日は、あいにくの雨にもかかわらず、同市横川小体育館裏側の天降川沿いの水辺で社員らがバックホーやスコップを使い整地を実施した。丸一日かけた作業により、水辺の舞台はすっきりと整地された。同社の舞台整地などは第1回から数えて6回目。

このほか、社員らは周辺のごみ拾いなどのボランティアも行った。作業を行った社員は「台風や雨が心配ですが、計画通りコンサートができることを祈ります」と話していた。

なお、同社はコンサート当日に

コンプレッサーでライトアップ演出も行う。



～ 吉屋興業 ～

六月灯前に神社除草

(株)吉屋興業(吉屋義博社長)は12日、六月灯の開催を控えた鹿兒島市吉野町の七社神社境内で、清掃ボランティア活動を行い、地域の振興の一役買った＝写真＝。神社のある七社地区は吉屋興業の出身地。毎年、奉仕作業に則組んでおり、今年で6回目を迎えた。

この日も吉屋社長が率先指揮を取り、社員らは草刈り機やチェーンソーなどを使って、境内の除草、清掃を実施。早朝から夕方にかけて作業で、終了後はさっぱりときれいになった。

なお、同社は昨年12月にK&Sステップ1を取得し、事務所の清掃も担当している。

情報はこちらへ

本紙では、企業や団体の地域貢献活動を掲載しています。風景の写真や作業内容等を写真・報道編集部まで情報をお寄せください。新聞掲載は無料です。E-mail: hensu@kc-news.co.jp